

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 サンフレンズ	代表者	理事長 土屋俊彦	法人・ 事業所 の特徴	包括的なサービスでの支援により、ご利用者の困り事や状況の変化に気付きやすい。 また、その場に応じた柔軟な対応が可能である事により利用者さんの安心感に繋がっている。
事業所名	おあしす上井草 菱木 幸治	管理者	所長 菱木 幸治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	3人	人	1人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	昨年度の改善計画なし	昨年度の改善計画なし	・出来ていることはもっとあるはずなので、事業所自己評価にそういったところが反映されると良いと思う。	事業所自己評価の細かい部分において、職員間で共通した認識や解釈がされておらず、正確な評価が行えていないことが分かった。評価の質を高めるため、解釈が難しいまたは分かりづらい項目に独自に解説を付けるなどして誰もが評価しやすい環境を整える。
B. 事業所のしつらえ・環境	昨年度の改善計画なし	昨年度の改善計画なし	・サンフレンズ上井草の建物として、コロナ感染症対策が継続しているため、日々環境整備に取り組まれていることと思います。事業所の空間の清潔保持は保たれているものと思われます。	コロナ感染症対策は継続していくが、同時に利用者の生活が居心地の良い環境でゆっくり過ごしていただく環境を提供していく。
C. 事業所と地域のかかわり	昨年度の改善計画なし	昨年度の改善計画なし	・地域の合同防災訓練への参加をはじめとして、地域とのかかわりは行われている者と思います。自己評価を拝見すると、職員はそのことを知らない方も多いうように見受けられます。既に行っていることを職員に知ってもらうことも必要かと思われます。	今までは一部の職員のみが地域とのかかわりを行ってきたが現場の職員がシフト調整の段階で配慮をしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	昨年度の改善計画なし	昨年度の改善計画なし	限られた職員のなかで利用者を出外に連れ出したりすることは大変かと思う。もっと地域住民に頼っても良いかと思う。協力を得	地域包括支援センター、地域自治会、二層協議体等、地域とのつながりをより密にし、具体的な協力依頼内容を提示して連携を深め

			<p>るためには、何を支援してほしいのか？具体的に投げかけていく必要があるかと思う。</p>	<p>ていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>昨年度の改善計画なし</p>	<p>昨年度の改善計画なし</p>	<p>施設の職員だけで抱え込まずに第三者の意見を得ることで、改善につながることもあるので、今後も継続し一緒に考えていきたいと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では参加する方々から各関係機関に関する報告をいただき、上井草周辺の地域情報の交換や交流の場所にしていきたい。 ・事業所ご利用者の事例を報告し、具体的な活動や対応内容を知っていただけるようにする。 ・課題が挙げた時は、対応策と一緒に考えて意見をいただき早急に取り組む。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>昨年度の改善計画なし</p>	<p>昨年度の改善計画なし</p>	<p>サンフレンズ上井草が福祉救済所としての役割を担っており、地域の防災拠点のひとつとなっているため、これからも協力して取り組んでいきたい。</p>	<p>BCP（事業継続計画）に基づく防災訓練や地域住民とのご同防災訓練に現場の職員が参加できるようにシフト上で配慮をしていく。</p>